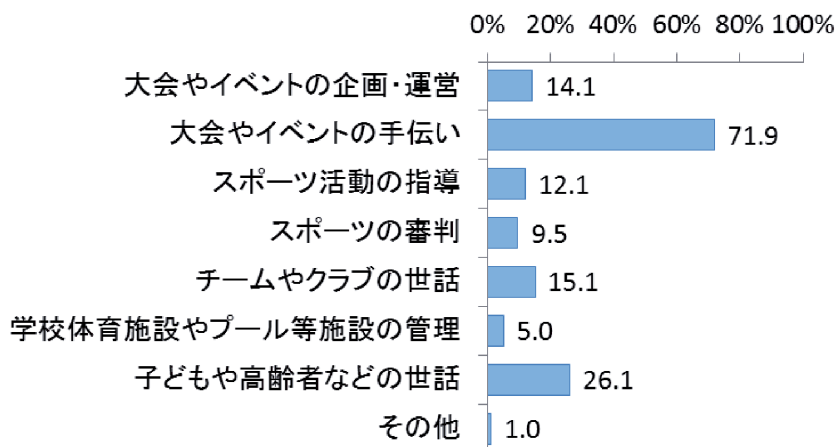
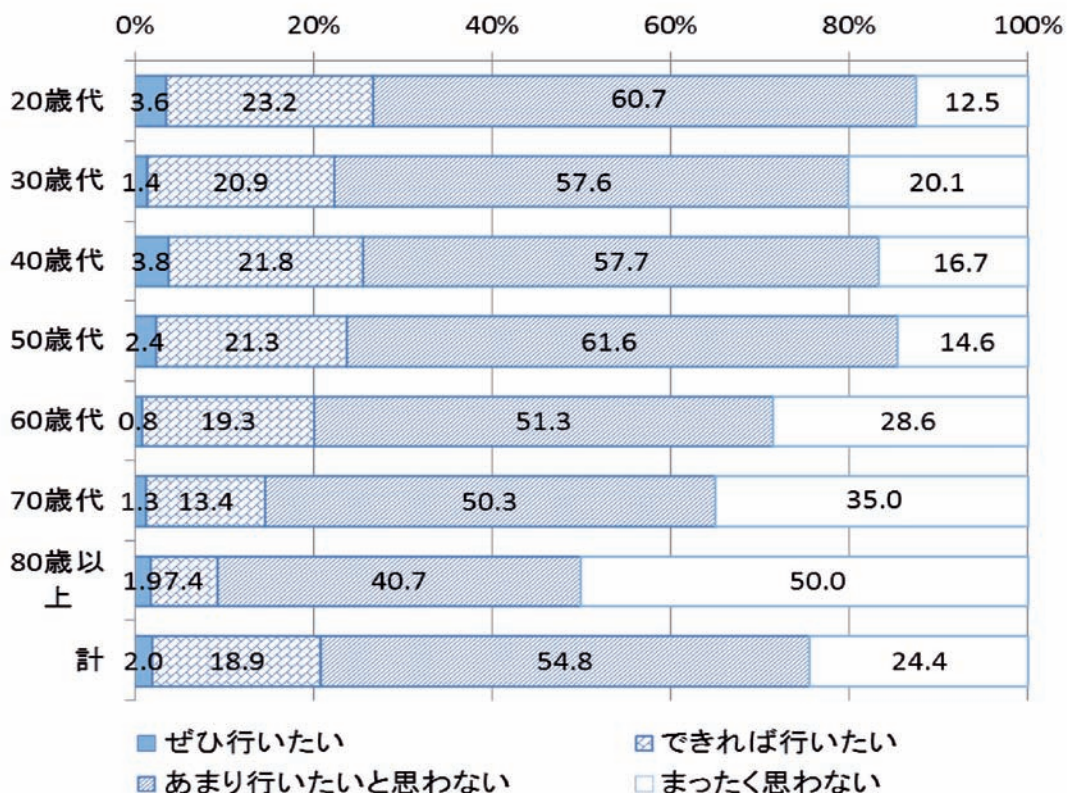




### ⑥ スポーツボランティア

スポーツの大会やイベントでボランティアができると思っている人が多い

ボランティアを行いたい人の割合は、「ぜひ行いたい」と「できれば行いたい」を合わせて20.9%となっています。行いたいボランティアとしては、「大会やイベントの手伝い」が最も多くなっています。年齢別に展開してみると50歳代以上では、「子どもや高齢者などの世話」という回答が増加しています。20～30歳代では、比較的「スポーツ活動の指導」との回答が多くなっています。



※複数回答可

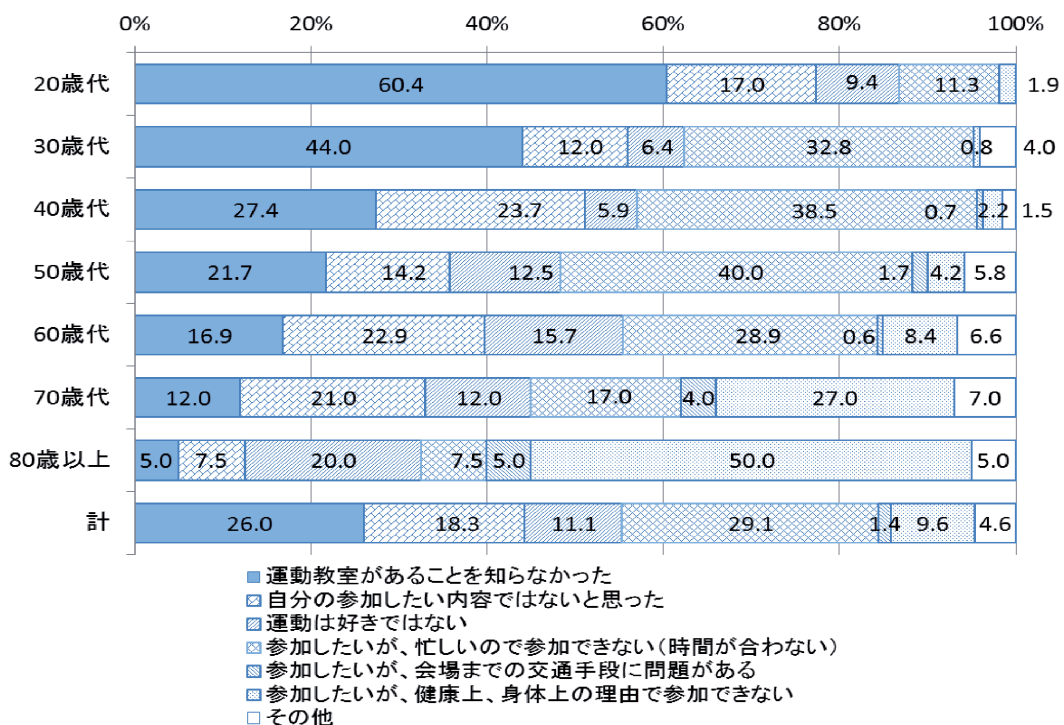
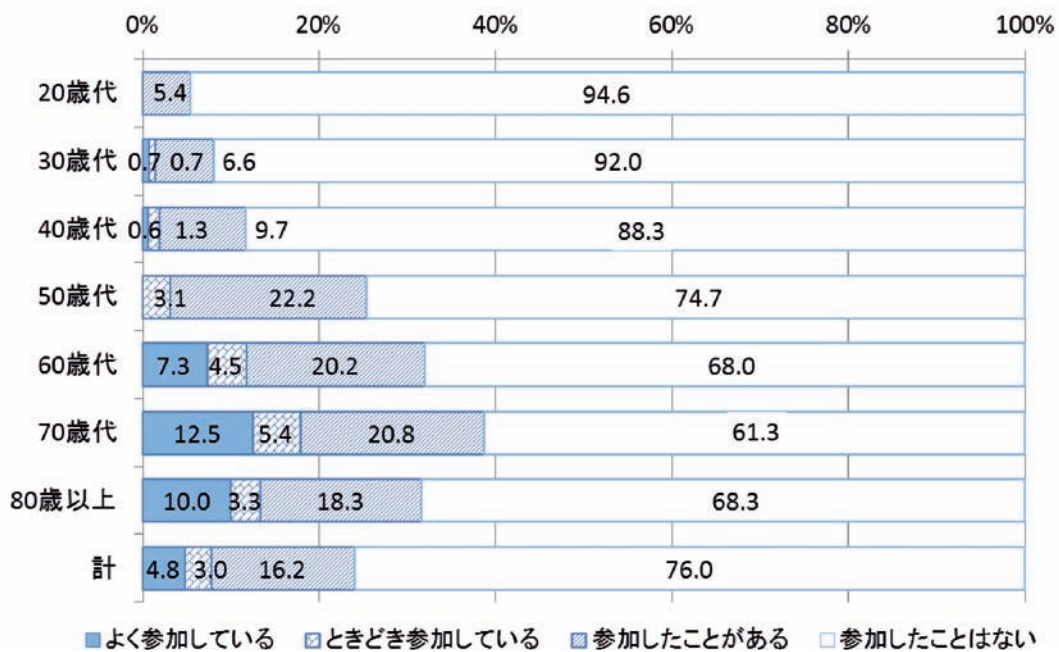




⑦ 運動教室などへの参加

運動教室への参加に年齢格差があるが、教室に関する情報伝達の課題がある

保健センターや公民館で行われる運動教室の参加については、「よく参加している」と「ときどき参加している」の割合が合わせて7.8%となっています。50歳代以上の参加率が高く、70歳代では「よく参加している」と「ときどき参加している」の割合は合わせて17.9%となっています。さらに、「参加したことがある」を加えて、「参加経験がある」として見ると、60歳代以上では3割を超える人が運動教室に参加経験があります。参加していない主な理由として、「運動教室があることを知らなかった」が26.0%あり、若い世代ほど知らなかった割合が高くなっています。

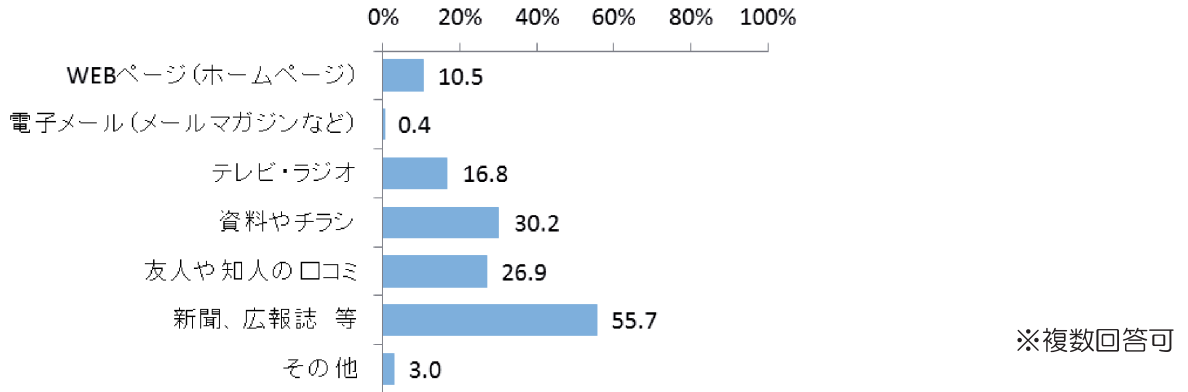




### ⑧ スポーツ活動に関する情報入手方法

紙媒体での情報入手が中心となっている

下松市のスポーツ活動に関する情報入手元としては、新聞、広報誌などからの情報が最も多く、55.7%となっています。次に資料やチラシが30.2%で多く、紙媒体による情報入手が多いことが分かります。WEBページ（ホームページ）からの情報入手は10.5%と低くなっており、スポーツに関する情報の周知の方法などについてIT活用などの工夫が望まれます。

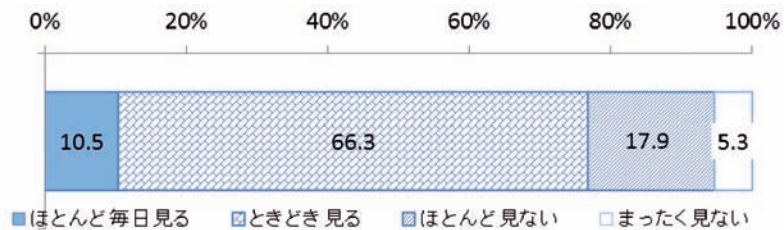


### ⑨ スポーツ観戦

スポーツは人々に感動を与えている

テレビで観戦している人の割合は高くなっていますが、直接観戦している人の割合は高くはありません。

【過去1年間、テレビでスポーツ観戦した状況】

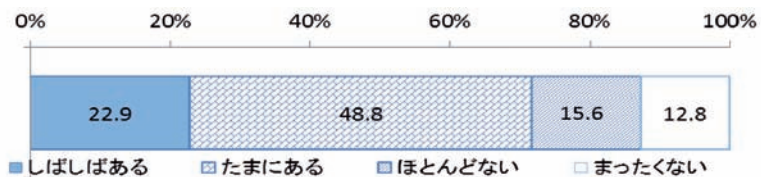


【過去1年間で直接スポーツ観戦に行った】



【スポーツ観戦して感動したことがある】

スポーツを観戦して感動したことがあると回答した人が「しばしばある」と「たまにある」を合わせて71.7%となっています。





## 2. 市民ワークショップのまとめ

### 【開催日時・場所】

- ・平成 25 年 9 月 21 日（土）13：00～15：30
- ・ほしらんどくだまつ サルビアホール

### 【参加者】

参加者数 51 人（市民 29 人、学校教員 8 人、高校生 14 人）

### 【実施方法】

7つのグループに分かれ、下松市においてスポーツを「する」「観る」「支える」に分けて、それぞれを活性化するためにはどうしたらよいかをブレインストーミング形式（集団でアイデアを出し合うことによって相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法）で話し合い、意見を各グループでまとめ、全員の前で発表を行いました。

初心者が参加しやすい教室を実施して欲しい。用具の貸し出しも。



スポーツ活動の情報が市民にもっとうまく伝わるのが大切です。



スポーツの指導者同士が交流したり研修を受けたりするしくみが欲しい。

親子で参加する教室は子どもがスポーツを知るよい機会ですね。

第2段階として、それぞれのグループで主に話し合われた特徴的な項目についてさらに深掘りし、具体策を検討してもらい、同様に発表を行いました。



各グループとも熱心な話し合いが行われ、高校生がみんなの前でがんばって発表したグループもありました。

各グループのリーダーは事前に事務局で決めさせていただき、前日に集まって、グループ会議の趣旨や進行について話し合い、共通認識をとりました。





市民ワークショップでは、さまざまな意見をいただきましたが、大きく分けて6つの分野に分けることができました。これらを基に、事務局において政策協議を行い、計画書に反映させています。その主な意見は下記の表のとおりとなっています。

【市民ワークショップでの主な意見】

項 目	主な意見
① スポーツイベント・教室の活性化 「既存のスポーツイベントや教室の充実」 「初心者が参加しやすい工夫」 「新たな教室、手軽なスポーツの紹介など」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の教室の教室数の増加や各地域への展開ができればよい。スポーツイベントや教室の運営の改善で活性化。</li> <li>・初心者を歓迎し入れることが重要ではないか。</li> <li>・初心者用スポーツ教室や・初心者を指導できる指導者がもっと欲しい。</li> <li>・初心者への用具貸出しがあれば参加が増える。</li> <li>・親子で参加する教室は子どもがスポーツを知るよい機会となる。</li> <li>・親子スポーツで家族間交流ができる。</li> <li>・ウォーキングやジョギングなど手軽ないつでもできる運動の普及をすべき。</li> <li>・障害者も参加できるスポーツ教室やイベント開催。</li> <li>・障害者や高齢者の指導ができる人の確保が必要。</li> <li>・各学校 PTA などチームをつくり、ソフトバレー大会などを行えばよい。</li> </ul>
② スポーツの支援者の充実 「スポーツ指導者やボランティアの充実」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導のための講座（技術・コーチング・怪我防止）や指導者同士の交流会で、指導者の質の向上が必要。</li> <li>・指導者やボランティアの名簿づくりをして、スポーツ経験者など協力を求めるとよい。</li> </ul>
③ 情報の提供のしかたの充実 「情報の整理整頓による一元化と積極的な情報発信」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のスポーツイベントなどに関する一覧表があれば参加しやすい。</li> <li>・現在行われているスポーツ教室、イベントなどに関する内容をもっと広報すべき。</li> <li>・ホームページ、ブログなど IT を使った情報発信をもっとすればよい。</li> <li>・有線放送などを使ってスポーツイベントなどの紹介をすれば、周知が進む。</li> </ul>
④ スポーツに対する意識や意欲の醸成 「観ることから学び、意欲を持つしくみ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市のスポーツイベントへプロや一流選手を招へいし交流することでスポーツをする意欲が高まる。</li> <li>・プロや一流のアマチュアのプレーや競技を見ることが大切と思う。</li> </ul>

